



**American Airlines®**

**報道関係者各位  
《緊急のお知らせ》**

**アメリカ館メチア担当**

広報部長 ロッド・アームストロング

(0561)-64-3078

[rarmstrong@aichiusa2005.com](mailto:rarmstrong@aichiusa2005.com)

## ライトグライダー アメリカ館レガシー名古屋とセントレアへ

長久手、2005年9月12日：2005年9月14日午前10時より、アメリカ館の「アメリカの道のり」ギャラリーでセレモニーが行われます。このセレモニーにおいて、アメリカ館はセントレアへ1902年製ライトグライダーのレプリカを寄贈します。この贈呈は、アメリカン航空の協力によって実現可能となりました。

1902年、ライト兄弟はノースカロライナ州のキティホークで、飛行の三つ回転軸に沿ってパイロットがコントロールできる歴史上初の飛行機を飛ばしました。それはライト兄弟の特許の基礎であり、航空時代の始まりを特徴付けるものでした。アメリカ館の厳密なレプリカは、アメリカの道のりギャラリーへの劇的な始まりをもたらし、歴史家であり、職人でもあるこのレプリカの創作者のリック・ヤング氏による講演は、アメリカ館の講演シリーズの中でも特に人気のあるものでした。

アメリカ館は、非常にすばらしく、そして成功であったこの国際博覧会におけるアメリカの参加を思い出させるような何かを残してゆくことで、愛知県と中部地区のコミュニティーのホスピタリティーに恩返しをしたいと思っています。アメリカン航空の支援により、アメリカ館はライトグライダーを中部の感動すべき新たな空港に提供することが出来ました。セントレアはグライダーを受容れただけではなく、新しくりっぱな家をこのグライダーのためにデザインしました。

「私どもは、リック・ヤング氏の航空における革新のすばらしいレプリカが、米国と日本の重要な経済の中心地での物とサービスの交通をより向上させるハブであるセントレアで、永久に展示されることを喜ばしく思います。」と米国政府代表リサ・ゲブル大使は言います。「アメリカン航空によって、私どもがこの重要な芸術品にそのようなすばらしい家を見つけることが出来たことを嬉しく思います。」

米国運輸長官であるノーマン・ミネタは4月、セントレアとアメリカ館を訪問しました。グライダーがセントレアへ展示され、そこを訪れる人々がその展示を楽しめると知ったとき、ミネタ運輸長官は「この活気ある航空の中心地の新たな家で、ライトグライダーは米国と日本の重要な航空パートナーシップを記念するでしょう。このパートナーシップはとてつもなく、そして非常に深い友好関係のほんの先端に過ぎません。」と言いました。

注記：航空史にご興味の方はテキサス州フォートワースにあるアメリカン航空C. R. スミス博物館のウェブサイト <http://www.crsmithmuseum.org> をご覧ください。